

結婚・出産特集

近況報告：結婚，独立，そして…

第1期 OB 井川 倫士

こんにちは。1期の問題児，井川です。今回も私の仕事に触れながら，自分への戒めとともに簡単なメッセージを送りたいと思います。

◆「新生活スタートとともに，銀行口座の整理と貯蓄額を決める。」

えっと…結婚しました！2012年1月5日に婚姻届を提出し，独身生活から解放されました。お付き合いして1年経った彼女の誕生日にプロポーズし，「はい」と返事をもらいました。この文を見ても「本当に？」と疑っている人も多いでしょうが，これはフィクションではありません（笑）。ちなみに，式の詳細はこの文章を書いている時点では未定です。

さて，ファイナンシャル・アドバイザー（以下FA）の仕事を始めて3年目に突入しました。この仕事を一言で表すと“お金に関してお客様の夢の実現をお手伝いすること”です。その中でよく受ける相談として「なかなかお金が貯まらないのですが…」というものがあります。「まず貯蓄の仕組み作りを」と安易にこれまでアドバイスしてきました。新生活スタートとともに自分の貯蓄計画を立てましたが，実際にはとてもしんどい作業でした。貯蓄額の決定は簡単です。しかし資金の流れを見える化するために，さまざまに引き落とし口座を変更しなければならず，かなりの時間を費やしました。この経験を通してお客様にもっと具体的にアドバイスする必要があると痛感。大事なことは楽しく貯蓄することです。将来のためにあまりに我慢して，ストレスが溜まるようでは本末転倒。何のためにお金を準備するのか。目標ごとに道具を組み替えた方が良いのか。などその人に合ったやり方を採り入れて，ゲーム感覚で楽しく貯蓄してることが重要です。これからは実体験を元にお客様へより有意義なフィードバックをしていきたいです。

◆「自分の夢を実現していくために」

私がこの仕事を通して提供していきたい価値は以下の3つです。

- 1. 将来の資金計画をより具体化する。
- 2. 目標を達成していくために資産の効率化を考える。
- 3. 実行に移していただくお手伝いをする。

こう考えるようになったきっかけは，日本の将来に憂いを抱いたことです。これからは国任せではなく

自分で将来的な備えをする必要があるでしょう。しかしお金に関する相談をしたくても環境もなく、相談できる人も周りにはいませんでした。「では自分がその人になってやろう。」そう思ったのです。そしてFAという職に就き3年目を迎えた現在、根拠があり質の高いアドバイスをするために独立を検討しています。企業に所属するとどうしても色が付いてしまうからです。ただしプランニングフィーだけで生計を立てているFAは日本には皆無です。理由は2つ。1つは日本に本来のFPが浸透していないこと。もう1つは法律の壁があるためです。FAの仕事は将来的にとっても重要な仕事になるであろうと感じています。だからこそ本気で一段上の独立FAなる夢を実現したいです。

◆「みんなの力になりたいし、応援もして欲しい。」

独立を考えるうえでコアにしたいターゲットは以下の3つです。

- 1. 住宅購入を考えている人
- 2. 医療業界に従事している人
- 3. 相続・事業承継に悩みを抱えている人

それぞれについて触れてみます。

■1. 住宅購入を考えている人

3大資金の1つである住宅資金についてアドバイスが欲しいという方はとても多いです。家を購入するために最適な時期はいつなのか。頭金はそれで良いのか。ローンの組み方は。繰り上げ返済の仕方は。いや、そもそも家を買うより賃貸の方が…。そしてその他の目標は。など様々な疑問に対してよりの確かなアドバイスができるよう努力します。

■2. 医療業界に従事している人

私は学生時代、医者になることを夢見た時期もありました。予期せぬ状況が起こった場合は保険で賄えば良いかもしれませんが。しかし長生きリスクを考えると、そもそも病気にかからないようにすることが先決です。治療方法だけではなく、予防や未病などの知識を身に付けお客様に情報提供していきたいです。それにより元気にライフプランを達成していくお手伝いができると考えています。

■3. 相続・事業承継に悩みを抱えている人

検討されている税制改正において、相続税の基礎控除額が以前の6割(3,000万円+600万円×法定相続人)に減る可能性が高くなっています。退職金を得たばかりの都内に住宅を保有する方は、2次相続を考えて今から相続対策を立てる必要があるかもしれません。また団塊の世代の経営者が大量にリタイアを迎える時期に当たります。少子化の背景で自分の家族以外を対象にした事業承継やM&Aのニーズが高まっており、アドバイスを求めている人が多いです。

以上3つのターゲットを中心に独立を考えています。まず周りの人たちには幸せでいて欲しいです。ですからこのような相談をしたい時は、ぜひぜひ私を利用してください。そしてその見返りとして私を応援

してくれると嬉しいですよ。(具体的には上記3つに当てはまるお客様を紹介してもらえるとありがたい。)

知らないことで損をしている人が大勢います。しかしお金に関するプロのアドバイザーはひと握りです。ですからこの考えに同意してくれる人は、セカンドオピニオンとしてでも気軽に連絡をください。

◆「自分への戒めとメッセージ」

金融や政治の混乱の最中、世界のリーダーが交代するなど2012年はパラダイムシフト(斬新なアイデアにより時代が大きく動くこと)がいよいよ進む年になると言われています。ビジネス書では2010年からマネジメントの能力が注目を浴びてきました。直近の傾向は少し変わってきて、心の豊かさや直観力を向上させようという主旨の本が増えているように感じます。特に「直観力」は単なる思い付きや行き当たりばったりのものではなく、“それまで培った経験や知識に裏打ちされた直観”が重要だと説かれています。そのベースとなるものが「心の豊かさ」です。いろいろな決断や判断を下していくために、また自分自身の道を切り開いていくために、自分の直観に従っていくことが大切なのだと思います。

パラダイムシフトが進む時期には、物事を本質的に捉え仮説を立てる能力が求められます。今こそ小野ゼミ生にとって活躍の好機。なぜなら小野ゼミでは講義の中で常々仮説を組み立てる経験をしています。そしてその経験を通して直観力を自然と磨いているからです。

お互いにその力を使って自分の道を切り開いていきましょう。“ふぁいと”



両家顔合わせの席で私の両親と妻と自分。さてどれが妻…